

2019年 第44回  
全国公募写真展

# 視点



谷口 互「辺野古で今」(2018視点賞)



本郷 浩「望郷」(2018奨励賞)



高橋美保「踏み分け入れば...」(2018入選)



王 一銘「希望、見えましたか?」(2018準ヤング賞)



中澤ふみ子「GINZA SPOT」(2018入選)



加藤真希「夏休み」(2018優秀賞)



中島英吉「挑戦者たち」(2018入選)



江幡美英江「山の民」(2018入選)

## 作品募集

テーマ、内容は自由

単写真または最大8枚までの組写真  
(ヤング部門は5枚以下)

写真サイズ A4または六切のプリント  
応募資格に詳しいの制限はありません

送付受付 2月10日(日) ~ 3月1日(金)

持参受付 2月22日(金) ~ 3月1日(金)

展示: 東京都美術館(上野公園内)

会期: 6月6日(木) ~ 6月13日(木)

巡回展: 浜松、名古屋、仙台、三重、大阪など

### ヤング部門 あります

視点賞	1名	土門拳揮毫「視点」額 (賞状と賞金30万円)
奨励賞	3名	(賞状と賞金10万円)
優秀賞	7名	(賞状と賞金3万円)
特選	10名	(賞状と賞金1万円)
ヤング賞	1名	(賞状と賞金5万円)
準ヤング賞	3名	(賞状と賞金1万円)

問い合わせ先 (13:00 ~ 18:00)

主催 日本リアリズム写真集団(JRP)/ 2019「視点」委員会

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-12沢登ビル6F

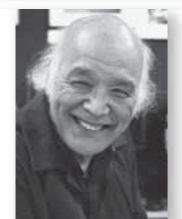
TEL:03-3355-1461 FAX:03-3355-1462 http://www.jrp.gr.jp Email: jrp@jrp.gr.jp



#### 中村 征夫 なかむら せいお

1945年秋田県湯上市生まれ。独学でダイビングと水中写真を学ぶ。東京湾をライフワークに取材を重ね、現在も進行中。水中撮影の分野で活動する。講演、出版、テレビ、ラジオなどを通して海の魅力と環境問題を伝える。第13回木村伊兵衛写真賞、第26回土門拳賞、2007年日本写真協会年度賞などを受賞。おもな著書に「ルポルタージュ全・東京湾」写真集「海中顔面博覧会」、「遙かなるグルクン」などがある。

このたび、「視点」展の選考委員として、参加することになりました。写真の題材は、巷に無限に広がっていますが、心の琴線に触れる瞬間は各々違うとされます。自分にとっては心に響くシーンでも、他人は無反応ということがよくあります。だから写真は多様で面白い。「視点」展は、まさに己の人生を表現する場であるとも言えるでしょう。自分の視点を信じ、思いを込めて撮られた多くの力作に出会いたいと思います。



#### 金瀬 胖 かなせ ひろのぶ

1944年千葉県生まれ。主な関心事は産業社会の風景と音楽家。写真集「ZONE」、『EXPOSED 東海村感光録』、『浦廻』、『路上の伝記』ほか。写真展多数。写真の会賞など受賞。JPS会員、JRP代表理事。現代写真研究所教務主任。

いま感じること。ヒトラーの後継ぎが次々と生まれる怪しい土壌。路上で子供を撮るときに背後に感じる視線、おあらかさが消えた冷たい空気。その空気の中に子供はいるのだ。この土壌と空気を少しでも変えるだけの写真はしたら撮れるだろうか。写真の自由と子供の自由、すべての対象の自由は同じ。写真は一枚ごとに自ら開く自由への扉。



#### 英 伸三 えびすま しのぶ

1936年千葉県生まれ。農村問題などを通して日本社会の姿を追い続け、1992年から中国の改革開放政策による変貌を追っている。伊奈信男賞など受賞。写真集「一所懸命の時代」など多数。JPS会員、JRP代表理事。現代写真研究所所長。

写真を撮る場合、どんな対象や事柄であっても、強い関心を持って観察を深めていけば、ドキリとするような面白い瞬間や感動的な場面に出会えるものです。正面からしっかり対象にぶつかって捉えた写真は、きっと人の心を打つものがあるはず。できれば誰も撮っていない手付かずのテーマに挑戦した力作をお願いします。



#### 中村 梧郎 なかむら きちろう

フォトジャーナリスト、元・岐阜大学地域科学部教授、元・ニコニ第8回伊奈信男賞、2007年ニューヨークでMAGNUM創立60周年招待「ORANGE」展。著書に『新版・母は枯葉剤を浴びた』、『写真で何ができるか』、『共著』『環境百禍』。JPS会友、日本ジャーナリスト会議代表委員、JRP代表理事。

人は行く先々でたくさんの光景に出会います。モノのありように驚いたり見ます。そのときに感ずる「カワイイ」とか「すごい」といった感覚は容易に写真にすることができます。視点を鋭くすれば「けしからん」さえも画像にできます。風景も社会も変化・流動している日本です。その場でひらめく自分のセンスに自信を持って、みごとな作品にしてください。



#### 尾辻 弥寿雄 おつじ やすお

1945年長崎市生まれ。横浜市在住。写真集「長崎・照射の夏(平和のアトリエ)」、「鎌倉景(現代写真研究所出版局)」、「パリ漫歩景(現代写真研究所出版局)」。写真展「長崎 照射する夏」鎌倉景「パリの街角」など多数。JPS会員、JRP代表理事、現代写真研究所運営委員長。

“スマホ”が撮影機材として立派に機能する現代、写真が日常生活の中で急激にその野を広げ、あらゆる場面でカメラの存在を誇示しています。世界中の人や街や社会そして自然が記録される時代、写真はジャンルを超え人々の喜怒哀楽の世界を作り出しています。視点展はその世界を一堂に展示することを目指しています。その中にぜひあなたの作品を加えてください。精力的な応募を期待します。

2019  
選考委員